



徳島大学生物資源産業学部

Faculty of Bioscience and Bioindustry, Tokushima University

大学院創成科学研究科生物資源学専攻

Division of Bioresource Science, Graduate School of Sciences and Technology for Innovation

Guidebook 2022-2023



CONTENTS

学部長あいさつ	2
Message from the Dean	

学部等概要 Overview

沿革	3
History	
現役付職員等	5
Executive Staffs	
職員数	6
Number of Staffs	
学生数	6
Number of Students	
国際交流	7
International Exchange	
学位	7
Degree	
取得できる資格・受験資格	7
Licenses	
卒業生の進路	8
After Graduation	
キャンパス・附属施設紹介	9
Campus and Affiliated Institutes	

教員紹介	11
Teachers	

学部紹介 Introduction of Faculty

アドミッション・ポリシー	13
Admission Policy	
カリキュラムの特長	14
Curriculum	
学部各コース紹介	15
Course	

大学院紹介 Introduction of Graduate School

アドミッション・ポリシー	17
Admission Policy	
カリキュラムの特長	18
Curriculum	
大学院各コース紹介	19
Course	

在学生からのメッセージ	20
Message from Current Students	

アクセス	21
Access	





生物資源が創生する 輝く未来へ向かって

生物資源産業学部（Faculty of Bioscience and Bioindustry）は、平成28年度に工学部と総合科学部を主軸に改組して設立された徳島大学の新学部で、応用生命コース、食料科学コース、生物生産システムコースの3つのコースから構成されています。令和2年度には、応用生命科学、食料生物科学、生物生産科学の3つのコースからなる大学院創成科学研究科生物資源学専攻の博士前期課程が、令和4年度には、同専攻に接続する化学生命工学系、生物資源学系の2つのプログラムを含む7学位プログラムからなる創成科学専攻の博士後期課程が設置され、学部から大学院までの一貫した教育・研究課程が整いました。

本学部は、農学系の系列には属していますが、幅広い生物系の分野を包含し、新しいバイオ産業を創出することを特色にした全国的にも類を見ない学部です。生物資源とは、農林水畜産物、微生物や動植物、バイオマスなど、地球上に普遍的かつ広範囲にわたって存在する生物由来の資源です。私達はこの生物資源を過去より今日に至るまで、食糧、エネルギー源、医薬品原料、工業材料などに用いてきました。本学部では、自然が創り出したこの生物資源を、さらに有効かつ持続的に活用し、それを応用技術に結びつけて社会へ還元していくことを目指しています。この目的を担う人材の育成を行うことが本学部に課せられた使命であり、学部においては、視野や思考を育む教養教育と生物学やバイオ技術の基礎教育を実施した後に、皆さんの希望の進路に応じて、生物資源の産業化に必要な経済・経営学に関する教育を含んだ様々な生物資源を有効活用するための専門教育を行います。さらに、大学院においては、生物資源に関する専門分野教育を継続、深化させるとともに、専門分野の枠を超えた分野横断型の教育により他分野の知識や技術も幅広く培います。

現在、地球上では、温暖化、エネルギー源枯渇、食糧不足や新規感染症発生といった様々な問題が起こっています。私達は、最先端のヘルスサイエンス、フードサイエンス、アグリサイエンスを用いて、持続再生可能な生物資源がもつ有用な成分利用や新たな機能開発を行い、さらには生物資源を用いた革新的なバイオ産業を社会へ実装することで、環境、食糧や医療が関わるこれら問題の解決を図っていきます。皆さんが本学部で学ばれることで、自らの未来の夢を実現するための基盤を創り、健全で充実した学生生活を送ることができるよう、私達、教職員は丸となり全力で支援します。限りない可能性を秘めた生物資源への情熱と意欲あふれる皆さんと、本学部で一緒に学び、研究することを心より楽しみにしています。

徳島大学生物資源産業学部長

松 木 均

沿革 History

生物資源産業学部

Faculty of Bioscience and Bioindustry

大学院創成科学研究科生物資源学専攻

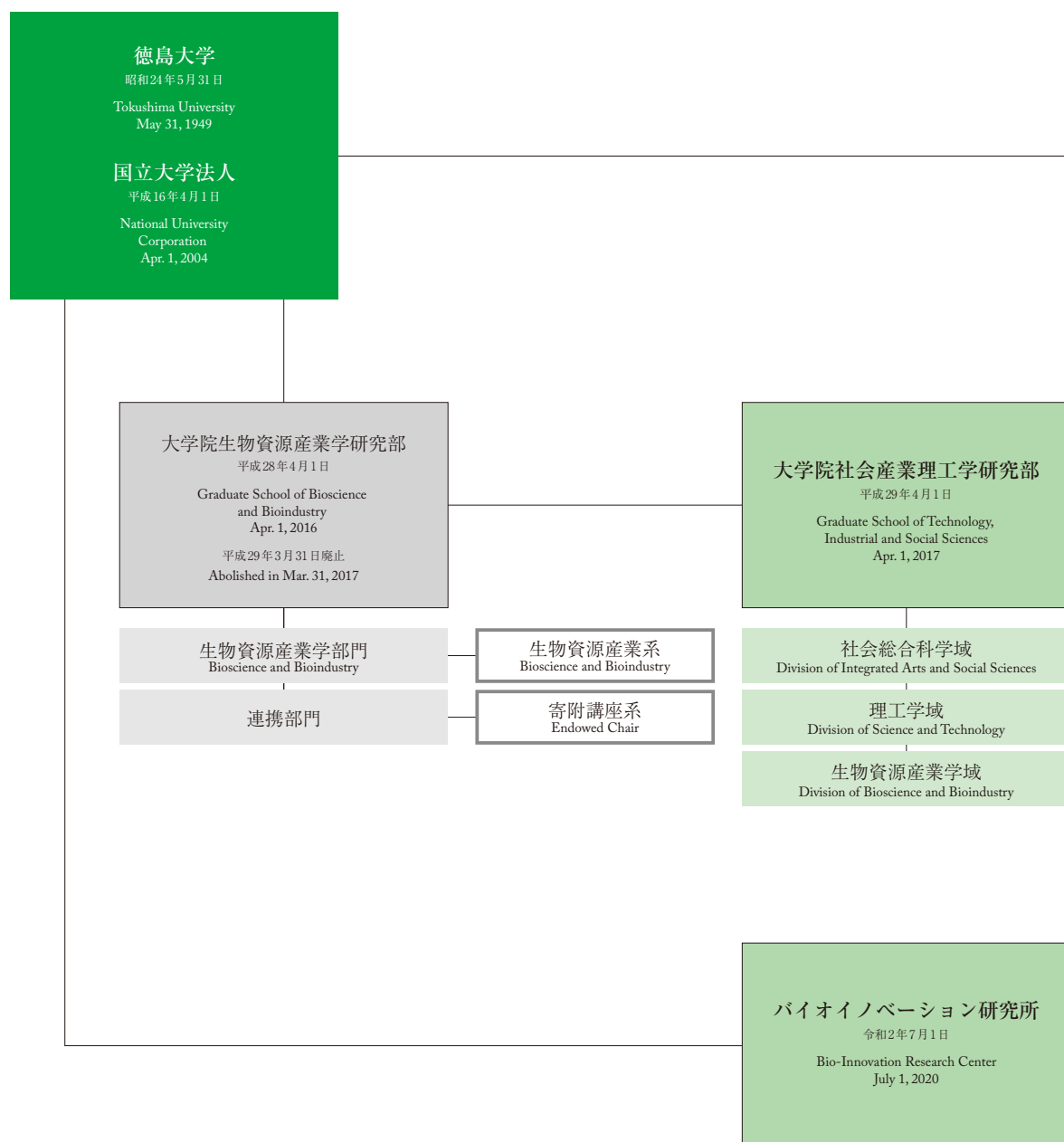
Division of Bioresource Science, Graduate School of Sciences and Technology for Innovation

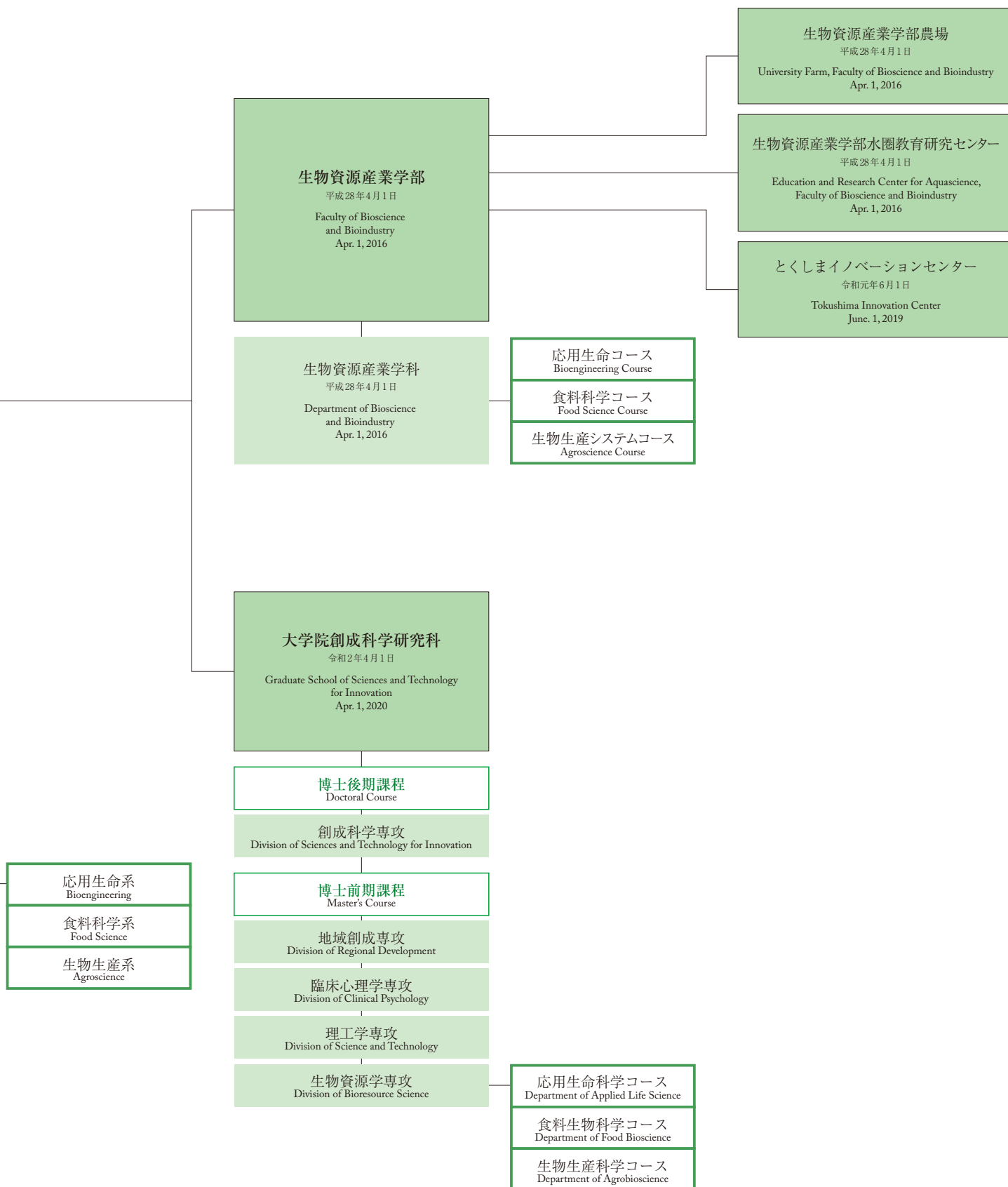
大学院社会産業理工学研究部生物資源産業学域

Division of Bioscience and Bioindustry, Graduate School of Technology, Industrial and Social Sciences

バイオイノベーション研究所

Bio-Innovation Research Center





現役付職員等 Executive Staffs

生物資源産業学部

Faculty of Bioscience and Bioindustry

学部長 Dean	松木 均 MATSUKI Hitoshi
副学部長 Vice Dean	櫻谷 英治 SAKURADANI Eiji
各コース長 Chairman of course	
応用生命コース Bioengineering Course	浅田 元子 ASADA Chikako
食料科学コース Food Science Course	田中 保 TANAKA Tamotsu
生物生産システムコース Agroscience Course	服部 武文 HATTORI Takefumi

大学院創成科学研究科

Graduate School of Sciences and Technology for Innovation

● 生物資源学専攻 Division of Bioresource Science

専攻長 Dean	松木 均 MATSUKI Hitoshi
副専攻長 Vice Dean	櫻谷 英治 SAKURADANI Eiji
各コース長 Chairman of course	
応用生命科学コース Department of Applied Life Science	浅田 元子 ASADA Chikako
食料生物科学コース Department of Food Bioscience	田中 保 TANAKA Tamotsu
生物生産科学コース Department of Agrobioscience	服部 武文 HATTORI Takefumi

大学院社会産業理工学研究部

Graduate School of Technology, Industrial and Social Sciences

● 生物資源産業学域 Division of Bioscience and Bioindustry

学域長 Dean	松木 均 MATSUKI Hitoshi
副学域長 Vice Dean	櫻谷 英治 SAKURADANI Eiji

常三島事務部

Josanjima General Affairs Division

事務部長 Director	高原 哲也 TAKAHARA Tetsuya
------------------	---------------------------

■ 生物資源産業学部事務課 Administrative Affairs Division of Faculty of Bioscience and Bioindustry

事務課長 Head of Administrative Affairs Division	沖津 貴司 OKITSU Takashi
■ 総務係長 Chief of General Affairs Section	西本 紘子 NISHIMOTO Hiroko
■ 学務係長 Chief of Student Affairs Section	竹重 和也 TAKESHIGE Kazuya

職員数 Number of Staffs

(1) 教員 Teachers

大学院社会産業理工学研究部生物資源産業学域
Division of Bioscience and Bioindustry, Graduate School of Technology, Industrial and Social Sciences

(令和4年5月1日現在)
As of May 1, 2022

※特任教員含む

系 Department	分野 Field	教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors
応用生命系 Bioengineering	応用生命科学分野 Field of Applied Bioscience	5	7	1	0
食料科学系 Food Science	食料科学分野 Food Science and Technology	4	5	2	1
生物生産系 Agroscience	生物資源生産科学分野 Bioresource Science and Economics	4	3	3	2

バイオイノベーション研究所
Bio-Innovation Research Center

(令和4年5月1日現在)
As of May 1, 2022

※生物資源産業学部に併任された教員数のみ

部門	分野 Field	教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors
産業生物系部門	生殖工学分野	1			
	食肉生産分野	1		1	
	昆虫生産分野	1		1	
	藻類生産分野		1		
地域生産系部門	農業分野		1		

(2) 事務職員 Administrative Staff

(令和4年5月1日現在)
As of May 1, 2022

区分 Classification	事務職員 Administrative Staff
常三島事務部生物資源産業学部事務課 Administrative Affairs Division of Faculty of Bioscience and Bioindustry	11

学生数 Number of Students

生物資源産業学部
Faculty of Bioscience and Bioindustry

(令和4年5月1日現在)
As of May 1, 2022

学科名 Department	入学定員 Admission Capacity	収容定員 Enrollment Capacity	現員 Present					内訳 Details	
			1 年次 1st year	2 年次 2nd year	3 年次 3rd year	4 年次 4th year	計 Total	男 Male	女 Female
生物資源産業学科 Department of Bioscience and Bioindustry	100 (2)	400 (6)	107 (2)	106 (3)	98 (2)	103 (2)	414 (9)	188 (6)	226 (3)

注) () 内は第2年次編入学生を外数で示す。
() denotes number of the 2nd year transfer students.

大学院創成科学研究科生物資源学専攻

Division of Bioresource Science, Graduate School of Sciences and Technology for Innovation

(令和4年5月1日現在)
As of May 1, 2022

専攻名 Division	入学定員 Admission Capacity	収容定員 Enrollment Capacity	現員 Present			内訳 Details	
			1 年次 1st year	2 年次 2nd year	計 Total	男 Male	女 Female
生物資源学専攻 (修士課程) Division of Bioresource Science (Master's Course)	39	78	—	39	39	18	21
生物資源学専攻 (博士前期課程) Division of Bioresource Science (Master's Course)			39	—	39	23	16

学部等概要
現役付職員等
職員数
学生数

国際交流 International Exchange

(1) 学術交流協定校

International Academic Exchange Agreements

(令和4年5月1日現在)

As of May 1, 2022

地域 Region	相手大学 Affiliated University	国 Country	区分 Level	締結年月日 Date Concluded
アジア Asia	時事日本語学院 Sisa Academy Co., Ltd.	韓国 Korea	大学間協定 Inter-University	H30.2.22 Feb. 22, 2018
	東國大学校 Dongguk University	韓国 Korea	大学間協定 Inter-University	H31.4.8 Apr. 8, 2019
	広東海洋大学 Guangdong Ocean University	中国 China	部局間協定 Inter-Faculty	H29.11.28 Nov. 28, 2017
	ドンブー日本語学校 Dong Du Japanese Language School	ベトナム Vietnam	大学間協定 Inter-University	H28.1.19 Jan. 19, 2016
	ベトナム国立農業大学 Vietnam National University of Agriculture	ベトナム Vietnam	大学間協定 Inter-University	H28.10.30 Oct. 30, 2016
	ダナン大学 The University of Da Nang	ベトナム Vietnam	大学間協定 Inter-University	H29.3.20 Mar. 20, 2017
	マレーシア国民大学 Universiti Kebangsaan Malaysia	マレーシア Malaysia	大学間協定 Inter-University	R4.3.3 Apr. 3, 2022
	キングモンクット工科大学トンブリ校 King Mongkut's University of Technology Thonburi	タイ Kingdom of Thailand	大学間協定 Inter-University	R3.10.20 Oct. 20, 2021
南アメリカ South America	パラナ連邦工科大学 Federal University of Technology-Parana	ブラジル Brazil	大学間協定 Inter-University	H29.8.16 Aug. 16, 2017
ヨーロッパ Europe	ミラノ大学 University of Milan	イタリア Italy	大学間協定 Inter-University	H29.11.15 Nov. 15, 2017
	レイリア工科大学 Polytechnic of Leiria	ポルトガル Portugal	大学間協定 Inter-University	R3.7.2 Jul. 2, 2021

(2) 外国人留学生

International Students

(令和4年5月1日現在)

As of May 1, 2022

地域 Region	国 Country	学部学生 Undergraduate	大学院生 Graduate	研究生等 Research Student	計 Total
アジア Asia	韓国 Korea	3	—	—	3
	ベトナム Vietnam	3	1	—	4
計 Total		6	1	—	7

学位 Degree

生物資源産業学部

Faculty of Bioscience and Bioindustry

大学院創成科学研究科生物資源学専攻

Division of Bioresource Science, Graduate School of Sciences and Technology for Innovation

学士（生物資源産業学）

Bachelor of Bioscience and Bioindustry

修士（生物資源学）

Master of Bioresource Science

取得できる資格・受験資格 Licenses

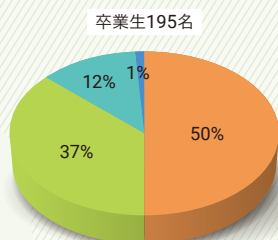
資格の名称	国家資格	民間資格	備考
食品衛生管理者・食品衛生監視員	○		資格取得が可能
甲種危険物取扱者	○		受験資格の取得が可能
上級バイオ技術者		○	受験資格の取得が可能

卒業生の進路 After Graduation

学部生

生物資源産業学部生物資源産業学科（令和2年度～令和3年度）

※「公務員」に「国立大学法人」を含む



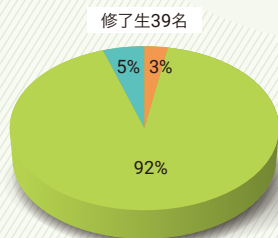
■ 進学 ■ 企業就職 ■ 公務員 ■ その他

主な就職先

化研テクノ(株)	(株)不二家
協同食品(株)	日本ルナ(株)
四国電力(株)	(株)大塚製薬工場
住友林業緑化(株)	徳島製粉(株)
徳島信用金庫	第一三共(株)
西日本電信電話(株)	赤城乳業(株)
日本ハムファクトリー(株)	常盤薬品工業(株)
ヒノキ新薬(株)	徳島県
(株)清水製粉工場	徳島大学
(株)日立ソリューションズ	中国四国農政局

大学院生

大学院創成科学研究科生物資源学専攻（令和3年度）



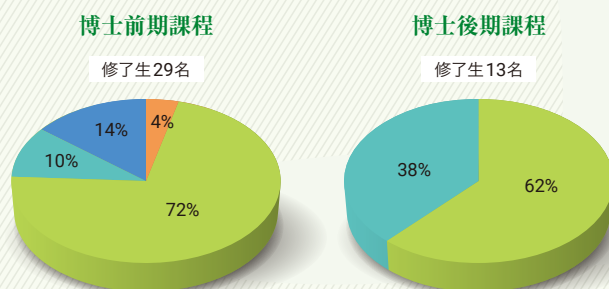
■ 進学 ■ 企業就職 ■ 公務員 ■ その他

主な就職先

阿波製紙(株)
大塚製薬(株)
四国化工機(株)
日本ハム(株)
ライオン(株)
(株)EP総合
大宝工業(株)
日清製粉(株)
徳島県

大学院先端技術科学教育部生命テクノサイエンスコース（令和2年度～令和3年度）

※「公務員」に「国立大学法人」を含む、「その他」に非公開者を含む



■ 進学 ■ 企業就職 ■ 公務員 ■ その他

主な就職先

富田製薬(株)	(株)新日本科学PPD
藤本化学製品(株)	立命館大学
日本製薬(株)	愛媛大学医学部附属病院
全星薬品工業(株)	四国化工機(株)
東洋ビューティ(株)	中外製薬(株)
健栄製薬(株)	ピアス(株)
大鵬薬品工業(株)	(株)皇漢薬品研究所
姫路市	徳島大学
徳島県	(株)ツツミプランニング
法務省出入国在留管理庁	大鵬薬品工業(株)

キャンパス・附属施設紹介 Campus and Affiliated Institutes

常三島地区
Josanjima Campus

徳島市南常三島町2丁目1番地
2-1 Minamijosanjima-cho, Tokushima



総合科学部1号館
Building No.1,
Faculty of Integrated Arts and Sciences



総合科学部3号館
Building No.3,
Faculty of Integrated Arts and Sciences



事務課 (建設棟2階)
Administrative Affairs Division
(Building for Department of Civil and
Environmental Engineering)



ベンチャービジネス育成研究室
Venture Business Development Laboratory



機械棟
Building for Department of Mechanical
Engineering

化学・生物棟
Building for Department of Chemical Science
and Technology and Biological Science and
Technology



総合研究実験棟
Research and Experimentation Laboratories

生物資源産業学部メインキャンパスです。総合科学部や理工学部の他、教養教育院や附属図書館等の多くの附属施設があり、入学後は、多くの時間をこのキャンパスで過ごします。

マップ上にグリーンで示した建物が、生物資源産業学部の教員研究室や実験室等がある建物です。

生物資源産業学部事務課の事務室は、建設棟2階にあります。授業の取り方や各種手続きで困ったことがあれば、お気軽にお越しください。

生物資源産業学部農場

University Farm, Faculty of Bioscience and Bioindustry

名西郡石井町石井字石井 2272 番地の 2

2272-2 Aza Ishii Ishii Ishii-cho, Myozaigun



農場実習・研究開発棟

生物資源産業学部農場は、約 10 万 m² という広大な敷地を有しており、そこには圃場や果樹園の他に、気温等が管理された屋内の閉鎖空間で作物栽培を行う植物工場や、ブタの品種改良等を行う研究室があり、先進的な研究に取り組んでいます。

また、ブタは解剖学的にヒトに近い部分が多く、外科手術のトレーニング等においても広く利用されており、本学部の農場には、このような手術トレーニング等を行う施設も有しています。

学生の皆さんは、生物生産システム実習等の実習科目で利用する他、ここで卒業研究を行うこともできます。



農場事務・研究棟



創薬・医療機器開発施設

生物資源産業学部水圏教育研究センター

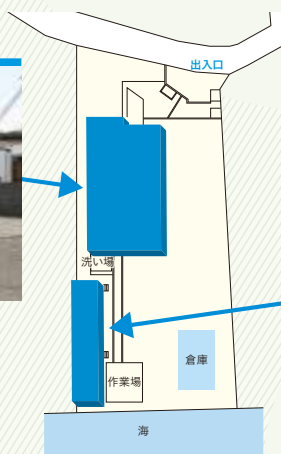
Education and Research Center for Aquascience, Faculty of Bioscience and Bioindustry

鳴門市瀬戸町堂浦地廻り 96 番地の 14

96-14 Dourajimawari-cho, Seto-cho, Naruto



水圏教育研究センター



水槽置場

生物資源産業学部水圏教育研究センターでは、主に海藻の養殖や、海藻を用いたアワビ等の養殖技術についての研究を行っており、屋内で様々な環境を再現し、最適な育成環境を探る基礎研究から、屋外水槽における大量養殖技術の検証等の応用研究までを一貫して実施しています。

学生の皆さんは、生物生産システム実習等の実習科目で利用する他、ここで卒業研究を行うこともできます。

とくしまイノベーションセンター

Tokushima Innovation Center

阿南市新野町室ノ久保 12 徳島県立阿南光高校新野キャンパス

12 Muronokubo Aratano-cho, Anan



とくしまイノベーションセンター



「徳島県、国立大学法人徳島大学及び徳島県教育委員会の連携による 6 次産業化教育の展開及び研究開発の推進に関する協定書」に基づき、阿南光高校新野キャンパスに「とくしまイノベーションセンター」が設置されました。

センター 2 階に、本学の教員が常駐し、高大接続による教育活動や産業界との連携による研究活動の拠点となることが期待されます。

教員紹介

Teachers

応用生命コース Bioengineering Course

教授
Professors

浅田 元子 ASADA Chikako
[専 門] 生物機能・バイオプロセス
[研究テーマ] 未利用植物性バイオマスの有用資源化
[研 究 室] 機械棟 7 階

宇都 義浩 UTO Yoshihiro
[専 門] 創薬化学
[研究テーマ] 発育鶏卵を用いた制癌剤の創薬研究と機能性食品／化粧品の研究開発
[研 究 室] 機械棟 8 階

長宗 秀明 NAGAMUNE Hideaki
[専 門] 微生物学
[研究テーマ] 細菌由来の生理活性物質：基礎研究から医療／細胞工学への応用研究
[研 究 室] 化学・生物棟 7 階

中村 嘉利 NAKAMURA Yoshitoshi
[専 門] バイオマス変換工学
[研究テーマ] バイオマスの総合的有効利用法の構築
[研 究 室] 機械棟 7 階

松木 均 MATSUKI Hitoshi
[専 門] 生体膜工学
[研究テーマ] 両親媒性分子集合系の構造と機能に関する生物物理化学的研究
[研 究 室] 化学・生物棟 6 階

准教授
Associate Professors

岸本 幸治 KISHIMOTO Koji
[専 門] 幹細胞生物学
[研究テーマ] 1. ストレスセンサー膜受容体によるがん幹細胞性制御機構の解明 2. 未分化細胞が有するストレス応答遺伝子の機能とその特異的発現誘導機構の解明
[研 究 室] 機械棟 8 階

後藤 優樹 GOTO Masaki
[専 門] 生物物理化学
[研究テーマ] 脂質・界面活性剤二重膜の高圧物性
[研 究 室] 化学・生物棟 6 階

白井 昭博 SHIRAI Akihiro
[専 門] 微生物学
[研究テーマ] 光反応を利用した病原性微生物制御法の構築
[研 究 室] 機械棟 8 階

田端 厚之 TABATA Atsushi
[専 門] 微生物学
[研究テーマ] 細菌病原因子の作用機構と宿主応答システムの解明に関する研究
[研 究 室] 化学・生物棟 7 階

玉井 伸岳 TAMAI Nobutake
[専 門] 生物物理化学
[研究テーマ] 脂質膜の構造特性に関する物理化学的研究
[研 究 室] 化学・生物棟 6 階

友安 俊文 TOMOYASU Toshifumi
[専 門] 微生物学
[研究テーマ] 微生物の病原性発現機構の解析
[研 究 室] 化学・生物棟 7 階

講師
Lecturers

山田 久嗣 YAMADA Hisatsugu
[専 門] 生物有機化学・ケミカルバイオロジー
[研究テーマ] In vivo ケミカルプローブの創製
[研 究 室] 機械棟 8 階

鬼塚 正義 ONITSUKA Masayoshi
[専 門] 動物細胞工学、蛋白質科学
[研究テーマ] バイオ医薬品生産プラットフォーム開発
[研 究 室] 機械棟 8 階

食料科学コース Food Science Course

教授
Professors

金丸 芳 KANEMARU Kaori
[専 門] 食品加工保蔵学・食品衛生学
[研究テーマ] 生物資源の機能性と有用性および加工特性の研究
[研 究 室] 総合科学部 3 号館 3 階

櫻谷 英治 SAKURADANI Eiji
[専 門] 応用微生物学
[研究テーマ] 機能性のある油をつくる微生物を利用した発酵研究
[研 究 室] 化学・生物棟 8 階

田井 章博 TAI Akihiro
[専 門] 生物有機化学
[研究テーマ] 食品、化粧品、医薬品における高機能性成分の開発研究
[研 究 室] 化学・生物棟 7 階

田中 保 TANAKA Tamotsu
[専 門] 脂質生化学
[研究テーマ] 脂質からの創薬・創食研究
[研 究 室] 総合科学部 3 号館 3 階

准教授
Associate Professors

赤松 徹也 AKAMATSU Tetsuya
[専 門] 生理学・口腔生理学
[研究テーマ] 唾液腺の発生・分化・再生および機能発現・調節の分子機構解明に関する研究
[研 究 室] 総合科学部 1 号館 1 階

川上 竜巳 KAWAKAMI Ryushi
[専 門] 応用生物化学
[研究テーマ] 極限環境微生物が作り出すユニークな酵素の機能構造・応用
[研 究 室] 総合科学部 3 号館 3 階

佐々木 千鶴 SASAKI Chizuru
[専 門] 天然物資源利用学
[研究テーマ] 植物性未利用資源および廃棄物の有効利用法の開発
[研 究 室] 総合科学部 1 号館 1 階

向井 理恵 MUKAI Rie
[専 門] 食品科学・食品機能学
[研究テーマ] 健康を増進する食品や栄養の機能解明
[研 究 室] 化学・生物棟 8 階

山本 圭 YAMAMOTO Kei
[専 門] 病態医化学
[研究テーマ] 健康と病態に関わる脂質ネットワークの研究
[研 究 室] 化学・生物棟 8 階

講師 Lecturers	 栗飯原 睦美 AIHARA Mutsumi [専 門] 生活科学 [研究テーマ] 食中毒原因菌に有用な殺菌方法について [研 究 室] 総合科学部3号館3階
	 林 順司 HAYASHI Junji [専 門] 酵素工学 [研究テーマ] 有用酵素の探索と研究そして産業への活用 [研 究 室] 総合科学部1号館1階

助教 Assistant Professors	 阪本 鷹行 SAKAMOTO Takaiku [専 門] 分子生物学 [研究テーマ] バイオマス資源を利用した機能性物質の微生物発酵生産 [研 究 室] 化学・生物棟8階
----------------------------	---

生物生産システムコース Agroscience Course

教授 Professors	 刑部 敬史 OSAKABE Keishi [専 門] 遺伝子工学 [研究テーマ] 新規ゲノム改変技術の開発とスマートセル育種への応用に関する研究 [研 究 室] 総合研究実験棟2階／藤井節郎記念医学科学センター3階
------------------	---

	 音井 威重 OTOI Takeshige [専 門] 動物生殖工学 [研究テーマ] 野生動物と家畜における生殖工学技術の展開 [研 究 室] 農場事務・研究棟2階
--	--

	 中澤 慶久 NAKAZAWA Yoshihisa [専 門] 環境農学関連、バイオエコノミー [研究テーマ] バイオエコノミーに関する研究と社会実装 [研 究 室] ベンチャービジネス育成研究棟4階
--	---

	 服部 武文 HATTORI Takefumi [専 門] 森林微生物代謝化学 [研究テーマ] 森林微生物の代謝機構の解明と森林資源の六次産業化への応用 [研 究 室] とくしまイノベーションセンター2階
--	---

	 濱野 龍夫 HAMANO Tatsuo [専 門] 水圏生産科学 [研究テーマ] 水圏生物を増やし保全し利活用するための研究 [研 究 室] 総合科学部3号館3階／水圏教育研究センター
--	--

	 三戸 太郎 MITO Taro [専 門] 発生生物学 [研究テーマ] 昆虫のゲノム機能解明と食料資源化 [研 究 室] 農場実習・研究開発棟1階
--	---

	 森松 文毅 MORIMATSU Fumiki [専 門] 畜産科学 [研究テーマ] 動物生産システムおよび畜産物利用に関する研究・開発 [研 究 室] 農場事務・研究棟2階
--	--

	 岡 直宏 OKA Naohiro [専 門] 海洋植物学 [研究テーマ] 有用海藻の増養殖、機能性成分の探索 [研 究 室] ベンチャービジネス育成研究棟4階／水圏教育研究センター
--	--

准教授 Associate Professors	 佐藤 征弥 SATOH Masaya [専 門] 植物生理学 [研究テーマ] 植物の病害の診断・治療。公園の造園設計。イチヨウの伝来・伝播ルートの解明。 [研 究 室] 総合科学部3号館3階
-----------------------------	--

	 宮脇 克行 MIYAWAKI Katsuyuki [専 門] 遺伝子工学 [研究テーマ] 動物・植物の効率的な生産方法の開発 [研 究 室] 農場実習・研究開発棟2階
--	--

	 山城 考 YAMASHIRO Tadashi [専 門] 植物系統分類学 [研究テーマ] 植物の分類と系統に関する研究および希少植物の保全に関する研究 [研 究 室] 総合科学部1号館1階
--	---

	 山村 正臣 YAMAMURA Masaomi [専 門] 森林植物代謝化学 [研究テーマ] 針葉樹心材形成機構の解明と有用成分利用に関する研究 [研 究 室] とくしまイノベーションセンター2階
--	--

講師 Lecturers	 石丸 善康 ISHIMARU Yoshiyasu [専 門] 発生生物学 [研究テーマ] 発生・再生の分子メカニズムの解明 [研 究 室] ベンチャービジネス育成研究棟4階
-----------------	---

	 橋本 直史 HASHIMOTO Naoshi [専 門] 農業経済学 [研究テーマ] 農産物の商品化と流通に関する研究 [研 究 室] 総合科学部1号館3階
--	--

	 平田 真樹 HIRATA Maki [専 門] 動物生産科学 [研究テーマ] 飼料・環境要因と家畜の生産性に関する研究 [研 究 室] 農場事務・研究棟2階
--	---

	 山田 晃嗣 YAMADA Koji [専 門] 植物生理・病理学 [研究テーマ] 植物・病原体間相互作用に関する研究 [研 究 室] 総合研究実験棟2階
--	---

	 渡邊 崇人 WATANABE Takahito [専 門] 遺伝子工学 [研究テーマ] 有用動物の遺伝子工学的な育種と大量生産システムの開発 [研 究 室] 農場実習・研究開発棟2階
--	--

アドミッション・ポリシー Admission Policy

本学部では、バイオテクノロジーを応用した生物資源の生産、医薬、食品としての有効利用に関連する幅広い知識、国際的に通用する専門性、バイオ産業創出に必要な起業マインドを持った人材の育成を目的としています。

● 求める人物像

関心・意欲・態度

バイオテクノロジー、生命、医療、食料、農業、環境に強い関心と学びに対する意欲があり、自分で明確な目標を定めることができる人

探 究 力

興味や関心を持った科学的事象を深く掘り下げることができる人

表 現 力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

知 識 ・ 教 養

本学部の専門分野を学ぶために、**高等学校等で修得すべき※**理科系・文科系にわたる知識・教養をもつ人

思考力・判断力

幅広い知識と教養、多くの経験をもとに深く思考し、適切に判断できる人

協 働 性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科

化学および基礎的な物理、生物の知識

数 学

「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」における内容の理解と応用力

英 語

国際的な専門分野を学ぶために必要な読解力と基礎的な運用能力

国 語

様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

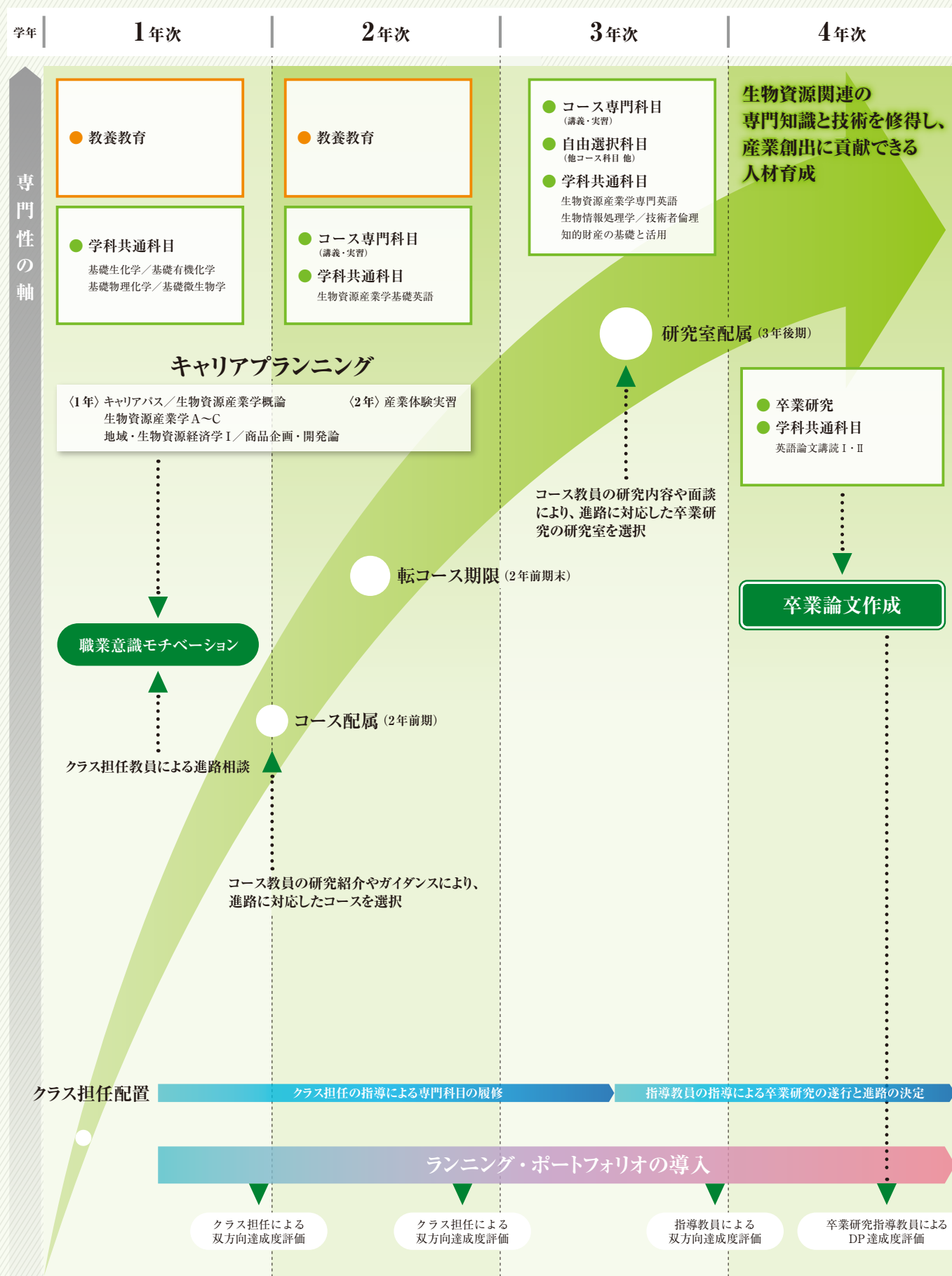
地歴・公民

地歴・公民における基礎的内容の理解



カリキュラムの特長 Curriculum

教養教育科目と生物資源に関する基礎知識を学科共通科目によって学んだ上で、2年次からコースに配属し、微生物から動植物に至る広範囲な生物学や生命化学、最先端のバイオテクノロジーや、これらを応用した食品の保存や加工技術・医薬品の開発・生物資源の生産育種技術などの専門科目を学びます。



学部紹介

アドミッションポリシー

カリキュラムの特長

学部各コース紹介 Course

応用生命コース

Bioengineering Course

応用生命コースでは、生物学、化学、工学を融合し、最新バイオ技術を駆使して健康、資源、環境等の諸問題を解決するための専門知識や技術を修得することができます。創薬、細胞機能の解明と応用、バイオマス有効利用等により、諸問題を解決できる能力や、開発したバイオテクノロジーを産業へ応用し、バイオベンチャー関連の企業でも活躍できる能力を養成します。

特長

生命分子や細胞の基礎研究からゲノム工学、細胞工学、微生物工学等の応用研究までの学問分野に関する教育を行い、生物資源からの医薬品開発や候補物質のスクリーニング、培養細胞によるタンパク質医薬品の大量生産等の医薬工連携分野及びバイオエネルギー生産等の研究を重点的に進めています。

主な開講科目

- 生化学
- 生体高分子学
- 微生物学
- 生物物理化学
- 生物有機化学
- バイオ医薬品生産工学
- 細胞情報学
- バイオリアクター工学
- 創薬学
- 免疫工学
- 微生物検査科学
- バイオマス利用学
- 再生医学
- 医用工学
- 生命科学
- 物理化学実習



食料科学コース

Food Science Course

食料科学コースでは、最新バイオ技術を駆使して食料、健康、資源、環境の諸問題を解決するための専門知識、技術を修得することができます。微生物機能の利用、機能食品の開発、フードビジネスに関する教育を進め、農学、工学、医学、栄養学及び薬学的見地から新しい安全な食品開発と産業化に貢献する能力を養成します。

特長

安全な食料の効率的生産による安定供給と機能食品開発に貢献できる能力の育成を目的として、農学、工学、医学、栄養学、薬学的アプローチによる食品の加工・保蔵、機能、安全、栄養、未利用生物資源開発に関する教育研究を製品開発や販売戦略等も含めて行います。

主な開講科目

- 天然物資源化学
- 生物活性物質化学
- 機能食品学
- 食品化学
- 代謝生化学
- 分子病態学
- 栄養・口腔生理学
- 基礎生理学
- 食品衛生学Ⅰ・Ⅱ
- 食品工学
- 酵素化学
- 遺伝子工学
- 応用微生物学Ⅰ・Ⅱ
- フードサイエンス
- 食料科学基礎実習
- 食料科学実習A～C



生物生産システムコース

Agroscience Course

生物生産システムコースでは、先端的作物生産、家畜繁殖、育種工学、植物工場、資源増殖の教育研究を製品開発や販売戦略等も含めて行い、安全な生物資源の安定供給に関わる諸問題について多面的観点から解決法を探究し、生産性の高い持続的1次産業を構築するための知識・技術力を修得します。また、生産生態系の保全を通して、農山漁村の多面的機能についても学び、1次産業の後継者教育を養成します。

特長

植物工場に代表される先端技術を利用した生物生産システム、生物が本来有する遺伝子による品種改良、生産生態系における資源管理手法や増殖技術、高付加価値を有する動植物の開発と種苗生産、フードシステムの基本的理解に基づく市場ニーズの動向を的確に捉えた販売戦略の企画力について教育します。

主な開講科目

- 植物生理学
- 生物資源環境学
- 農業科学総論Ⅰ・Ⅱ
- 森林科学
- 動物生産科学
- 水圏生産科学
- 植物生産科学
- 森林代謝学
- 応用昆虫学
- 水産資源学
- 植物細胞工学
- 生物多様性学
- 畜産加工学
- フードシステム論
- アグリビジネス起業論
- 生物生産システム実習A～C



教育のPoint!

学科専任教員と製薬、食品製造、醸造に関連する企業からの学外講師による実学もあります。



(腫瘍移植鶏卵に対する抗癌剤の静脈投与)

進路と未来予想図

生物工学的アプローチによる生物資源（微生物・培養細胞など）のヘルスサイエンスへの応用、製品化によってバイオ産業の育成と経済の発展に貢献できる人材を養成します。

進路

製薬系企業、化学系企業、発酵醸造業自営、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、医用工学系企業、バイオベンチャー企業、公務員、商社など

教育のPoint!

食料科学の知識と技術について、農芸化学、食品・栄養化学、生物工学、菌学・薬学などを専門分野とする専任教員で教育研究を行い、実学は地元企業の協力を得て進めています。



(アミノ基転移酵素の活性測定)

進路と未来予想図

栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見と機能食品開発によって食品産業の育成と経済の発展に貢献できる人材を養成します。

進路

食品関連企業（生産・研究・商品開発）、製薬系企業、化学系企業（化粧品企業含む）、食品流通業、サービス業、農林水産業団体職員、公務員、商社、バイオベンチャー企業、フードビジネス自営など

教育のPoint!

徳島県下自治体、徳島県立農林水産総合技術支援センターと連携しながら、附属施設にてフィールドワークを行います。



(茎頂培養法で作製したイチゴの苗の植物工場水耕栽培棚への定植)

進路と未来予想図

農工連携による生物資源の生産管理システム、育種・品種改良、資源の高機能化によって1次産業を発展させ、地域社会・経済の活性化に貢献できる人材を養成します。

進路

アグリビジネス自営、植物工場システムエンジニア、農業自営、農林水産技術者、畜産技術者、地域おこしを目的とした NPO の職員、農林水産業団体職員、公務員、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、食品流通業、商社など

大学院創成科学研究科の概要

再編前

総合科学教育部

博士前期課程
・地域科学専攻
・臨床心理学専攻

博士後期課程
・地域科学専攻

先端技術科学教育部

博士前期課程
・知的力学システム工学専攻
・物質生命システム工学専攻
・システム創生工学専攻

博士後期課程
・知的力学システム工学専攻
・物質生命システム工学専攻
・システム創生工学専攻

縦割り型
の専門教育
体制

柔軟な
教育体制

再編後

創成科学研究科

2020年度設置

博士前期課程 4 専攻 (学位)

- ・地域創成専攻 (学術)
- ・理工学専攻 (工学)、(理学)
- ・臨床心理学専攻 (臨床心理学)
- ・生物資源学専攻 (生物資源学)

2022年度設置

博士後期課程 1 専攻

- ・創成科学専攻 (学位プログラム) (学位)
- 社会基盤システムプログラム (工学)、(学術)
- 化学生命工学系プログラム (工学)
- 機械科学系プログラム (工学)
- 電気電子物理科学系プログラム (工学)
- 知能情報・数理科学系プログラム (工学)
- 生物資源学系プログラム (農学)
- 光科学系プログラム (工学)

創成科学研究科の特色

- ◆ 柔軟な教育体制の導入
- ◆ 産業界や社会のニーズを踏まえた教育
- ◆ グローバルな視点を学修
- ◆ 科学・技術イノベーションを学修
- ◆ 個々の専門性を共有できる能力の涵養
- ◆ 総合的・俯瞰的視点で課題解決

大学院創成科学研究科 生物資源学専攻

養成する人材像

中長期的な産業界や社会のニーズを踏まえ、農林水産業を地方創生の原動力として、我が国の持続的発展、国際競争力の向上、人類社会への貢献に資する高度専門職業人を養成します。

アドミッション・ポリシー Admission Policy

本専攻では、生物工学的アプローチによる生物資源のヘルスサイエンスへの応用・製品化によって新規バイオ産業の創成に貢献できる人材、栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見や新しい食品加工技術によって新規食品産業の創成に貢献できる人材、及び農工連携による生物資源の生産管理システム、革新的な育種・品種改良、及び資源の高機能化により1次産業の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

● 求める人物像

知識・技能、関心・意欲

生物の機能に強い関心を持ち、生物資源の生産、医薬・食品・エネルギーへの応用等の分野で深い知識と技術を修得し、高度専門職業人として、地域や国際社会において活躍することを目指す意欲的な人

思考力・判断力・表現力等の能力

生物資源に関する諸課題を理解し、深い専門知識により高度な解決策を提案できる思考力、判断力、表現力、及びコミュニケーション能力を有する人

主体性を持って多様な人と協働して学ぶ態度

地域生物資源の6次産業化や1次産業の持続可能な成長産業化について、多様な領域の人々と協働しながら、主体的に取り組むことに意欲的な人

カリキュラムの特長 Curriculum

本専攻では、生物資源産業学部の専門分野教育を継続・深化させるとともに、教育クラスター等の分野横断型教育により、「生物資源学」の枠を超えた高度な教育を行い、他分野の知識や技術を広く学修します。

1. 社会・地域のニーズを踏まえた教育課程

生物資源産業に対する社会・地域のニーズを踏まえ、「地域創生」や「イノベーション」の観点から、地方創生の原動力となる1次産業や食品産業の成長産業化並びに新しいバイオ産業の創出等に貢献できる人材を育成するため、生物資源学に関する高度な知識と技術を習得できる教育課程とする。

2. 企業・自治体と連携した教育課程

製薬、食品及び化学工業等の企業人、並びに徳島県の研究開発に関する事業部等の職員が担当する特別講義（応用生命科学特別講義、食料生物科学特別講義及び生物生産科学特別講義）や、企業及び自治体職員が担当する特別実習（応用生命科学特別実習、食料生物科学特別実習及び生物生産科学特別実習）を開講し、最新の生物資源に関する現状と課題等について講義と実習で学ぶことにより、高度な知識の修得に加えて課題を発見し解決するための実践力や応用力を養成する。

3. 分野横断型教育課程

生物資源の高度利用や1次産業の成長産業化並びに6次産業化等に貢献できる人材育成のため、農学、工学、医学、薬学、及び経済・経営学領域に渡る分野融合型教育課程であることを特色とし、更には、所属コースの専門教育に加えて、産業界・社会のニーズ（重要課題）に対応した研究に基づく分野横断型教育プログラムとなる教育クラスターを導入し、自らの専門分野における俯瞰的な視点や複眼的視点を養い、自身の研究力を更に高めることができる教育課程とする。



大学院各コース紹介 Course

応用生命科学コース

Department of Applied Life Science



応用生命科学コースでは、高度な専門知識を活かして、生物工学的アプローチによる生物資源のヘルスサイエンスへの応用、製品化によってバイオ産業の育成と経済の発展に貢献できる能力、及び高安定性・高機能性の化合物の分子設計において、AI等の他分野の手法を活用する方法を学び、ヘルスサイエンスに応用できる新しい化合物の開発に貢献できる高度な専門知識と技術を身につけた人材の養成を目指します。

教育について

修得した生物資源の高度利用に関するバイオサイエンスの知識と技術について、演習や実習並びに複数教員や他の学生とのグループ討議により議論を深めることにより、協働力やリーダーシップに関する能力を修得するとともに、自らの研究成果とその応用についてゼミナールや学会での発表、並びに、その応用の展開により、コミュニケーション力や実践力を培う教育を行います。

中心的な学問分野 修了後の進路

生命科学分野

医化学分野

生物化学工学分野



発酵醸造業、製薬系企業、化学系企業、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、化粧品産業、医用工学系企業、ベンチャー起業、公務員、商社など



食料生物科学コース

Department of Food Bioscience



食料生物科学コースでは、高度な専門知識を活かして、栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見と機能食品開発によって食品産業の育成と経済の発展に貢献できる能力、グローバルGAPやHACCPに適合した食品製造システムの構築にAI等の異分野の手法を活用する能力、及び食品のビッグデータ構築にICTを活用できる高度な専門知識と技術を身につけた人材の養成を目指します。

教育について

安定した食料供給、安全で効率的な食品加工、食品機能の解明とその応用など、将来の食品産業を担う人材養成を目指し、教育・研究を行います。学生が研究成果を発展させるための発想力や社会実装するための応用力を修得するとともに、自らの研究成果を国内外の学会で発表することで、発信能力や他の研究者とのコミュニケーション能力を高める教育を行います。さらに、教員や他の研究室構成員と共同で研究を行うことで、協働性を修得し、リーダーとなるための素養を培う教育も行います。

中心的な学問分野 修了後の進路

食品化学分野

食品加工保蔵学分野

栄養生理学分野



食品関連企業（生産・研究・商品開発）、製薬系企業、化学系企業（化粧品企業含む）、食品流通業、サービス業、農林水産業団体職員、公務員、商社、バイオベンチャー企業など



生物生産科学コース

Department of Agrobioscience



生物生産科学コースでは、高度な専門知識を活かして、農工連携によるIoTやAIを活用した生物資源の生産管理システム、ゲノム編集などの新技術による育種・品種改良、資源の高機能化によって1次産業を発展させ地域社会・経済の活性化に貢献できる能力の強化、及び地域創生のため地域の農林畜水産物を6次産業化する高度な専門知識と技術を身につけた人材の養成を目指します。

教育について

フィールドでアクティブに行動できる能力を強化するとともに、実習や演習並びに研究を進める過程において、指導教員や他の学生との議論により、これまで修得した生物生産科学に関する知識と技術について、理解を深めながら協働力やリーダーシップに関する能力を修得します。

自らの研究成果とその成果に基づく6次産業化への応用面やスマート農業への展開等について、研究室や学会での発表並びに企業等との実用化への共同研究等を行いながらコミュニケーション力や実践力を培うなど、基礎的な知識や技術の修得に加えて、それに基づく課題対応力といった実践力を強化する教育を行います。

中心的な学問分野 修了後の進路

細胞工学分野

植物科学分野

生物生産科学分野



農業、林業、畜産業、水産業及びそれらの関連法人、種苗企業、農協、生協、食品製造業、製薬系企業、化粧品産業、農林水産技術者、畜産技術者、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、6次産業関連企業、ベンチャー起業、公務員など



在学生からのメッセージ Message from Current Students

学部



生物資源産業学部生物資源産業学科
応用生命コース

4年

羽原 誉幸 さん

応用生命コースでは、生物学・化学・工学に関する基礎科目から応用科目まで様々な知識を学ぶことができます。実習では、物質の合成・分析や微生物の培養、さらには解剖実験などを体験することができます。このような幅広い分野の学習を通して、自分の本当に追求したいことを見つけることができると思います。私は、現在、生体膜関連の研究室に所属しており、大学院に進学しさらに研究を深めたいと考えています。



生物資源産業学部生物資源産業学科
食料科学コース

4年

山西 百音 さん

食は生きていく中で必要不可欠なものであり私たちの健康や幸福に深く関わるものです。食について多方面から知り考えられるこのコースで、私は脂質代謝についての研究を行っています。始めは漠然とした「食」への興味でしたが、講義や実習を通し栄養・健康から開発まで広く学ぶことで最も深く学びたい事が何かを実感でき、それについて日々多くの疑問と向き合い知識を深めることができます。



生物資源産業学部生物資源産業学科
生物生産システムコース

4年

藤江 快 さん

生物生産システムコースの魅力は幅広いカリキュラムだと思います。水産や昆虫学、植物学などの専門科目を履修することができます。また自分の学びたい分野を学習することができます。また自分がやりたいことや学習したいことが決まっていなくても考えるきっかけになるとと思います。フィールド実習もありアクティブに活動したい人も楽しめるコースだと思います。

大学院



大学院創成科学研究科
生物資源学専攻
応用生命科学コース

博士前期課程 1年

梶浦 可菜 さん

応用生命科学コースでは、バイオエコノミーというこれからの社会のニーズに合った分野について学びを深めることや、研究活動を通して論理的に考える力を養うことができます。私は大学院で酸性リン脂質の膜物性について研究しています。将来はこの研究で培った知識や論理的な考え方を活かし、界面化学の分野での研究開発に取り組みたいと考えています。



大学院創成科学研究科
生物資源学専攻
食料生物科学コース

修士課程 2年

平田 愛佳 さん

食料生物科学コースでは、栄養や健康といった「食」に関する観点から様々な課題にアプローチすることができます。私自身は唾液腺機能と食品由来成分の関連について研究を進めており、大学院ではより専門的な知識や技術を取得し、それを活かして研究活動を行うことができます。将来は大学院で学んだことを活かして、私たちの生活に密接に関わる食品の開発者として活躍していきたいです。



大学院創成科学研究科
生物資源学専攻
生物生産科学コース

博士前期課程 1年

山田 朔実 さん

大学院では組織培養やLED植物工場を用いていろいろな植物の代謝経路について研究しています。また、希少植物であるイシマササユリの保護活動を高大連携という形で行っており、自分次第でさまざまな経験ができる所が魅力です。将来は経験を活かして徳島県に貢献することが私の夢です。新しい事に挑戦したい方は、ぜひ生物資源産業学部に入學して大学院を視野に入れてみてください。

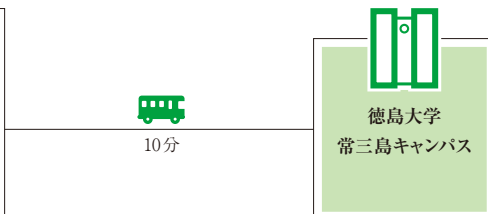
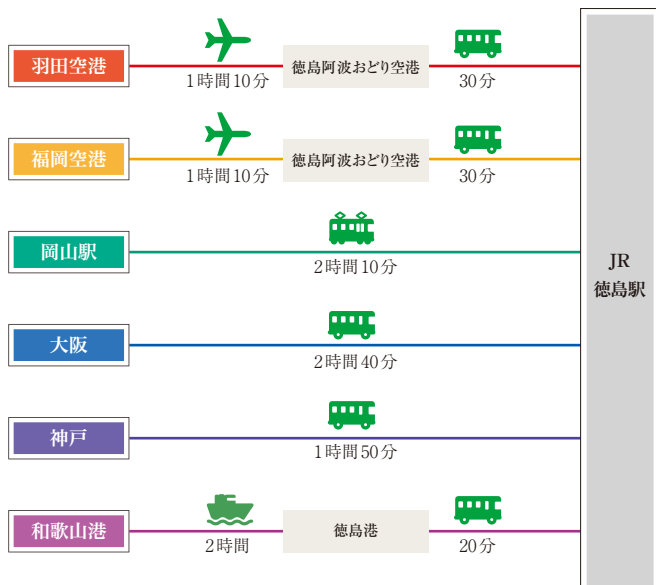
徳島大学生物資源産業学部

〒770-8513 徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地

生物資源産業学部事務課

常三島地区建設棟2階

Tel 088-656-8019 [総務係] / Tel 088-656-8021 [学務係] / Fax 088-656-8029



徳島駅から徳島大学常三島キャンパスまで

【5番のりば】

路線番号5 商業高校行（南常三島）「徳島大学前」下車
 路線番号6 島田石橋行「助任橋」下車
 路線番号31 中央循環左回り「助任橋」下車

【6番のりば】

路線番号3 中央市場行「助任橋」下車
 路線番号32 東部循環右回り「助任橋」下車

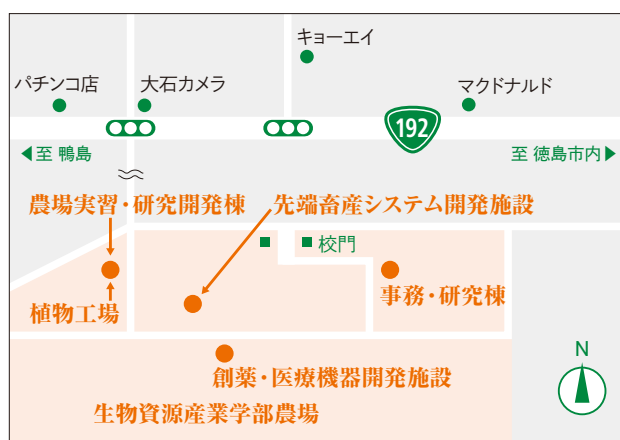
【7番のりば】

川内循環左回り「助任橋」下車

生物資源産業学部農場

〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井2272番地の2

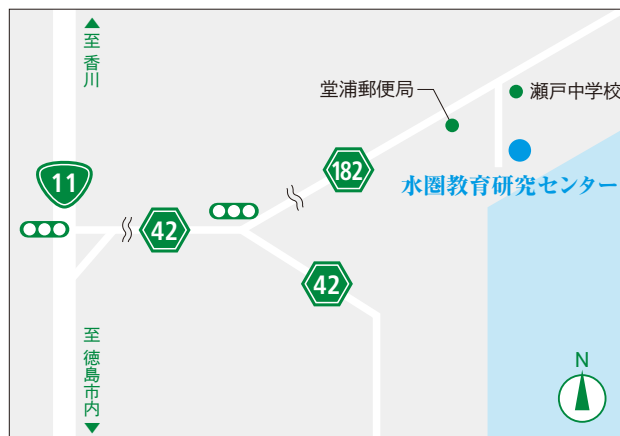
Tel 088-635-0796



生物資源産業学部水圏教育研究センター

〒771-0361 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦地廻り 壱96番地の14

Tel 088-683-7027







発 行 徳島大学生物資源産業学部

発行月 令和4年7月

